

道徳(自問教育)学習指導案

研究テーマ

友と関わりながら自らを問い、自ら伸びる子どもたちの育成



日 時 平成 28 年 11 月 25 日 (金) 第 5 校時 (14:05~14:55)
指導者 自問教育の会理事 平田 治 先生
主題名 「楽しいってどんなこと」
2-(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。
授業学級 3 年 4 組 男子 16 名 女子 13 名 計 29 名
授業会場 3 年 4 組 教室
授業者 宮澤 永 教諭

長野県塩尻市立塩尻中学校

I 研究テーマ

1 研究テーマ

友と関わりながら自らを問い、自ら伸びる子どもたちの育成

学校教育目標

「理想に向かって
ともに
よりよく生きよう」
やる気・思いやり・ひとり立ち

全校研究テーマ

「自ら求め、伝え合う学びの創造」
～「ねらい・見とどけ」を明確にした授業づくり～

目指す生徒の姿

- ① 自分から求めて意欲的に学ぼうとする生徒（やる気）
- ② 自分の考えを表現したり、伝え合ったりすることを通して追究を深め、確かな学力を身につけていく生徒（思いやり・ひとり立ち）

塩尻中学校の道德教育の重点目標

(1 学年重点目標)

「集団生活において、望ましい生活習慣を身に付け、相手の立場を尊重し、思いやりをもって友人と接することのできる道德的実践力をはぐくむ。」

(2 学年重点目標)

「他者との関わり合いの中から自らの行動を見つめなおし、他を思いやる道德的実践力をはぐくむ。」

(3 学年重点目標)

「集団や社会における役割と責任の自覚を促し、公共の福祉と社会の発展に努めようとする道德的実践力をはぐくむ。」

塩尻中学校3学年の自問教育の目標

自ら考え(道德的心情の育成)、正しく判断して(道德的判断力の育成)、行動できる生徒(道德的実践意欲と態度の育成)の育成。自主的・自立的に行う道德的行為ができる生徒の育成。

文部科学省 web サイト 「なぜ 道德教育 x HERO ?」より

道德教育の一番のねらいは「人としてどうあるべきか。自分はどう生きていくべきか。」ということをも自分自身で考え、実際に行動していけるようにすることにあります。(新CSの目標の改訂点)

2 テーマ設定の理由

相次ぐ少年による集団惨殺事件、いじめ自殺、ネットいじめ・・・人間らしい心の教育が叫ばれている昨今である。それ故に、特別な教科道德が始まることになった。次世代を担う子どもたちに人間らしい心の豊かさを育てていくことは急務である。

3 学年では、1 学年時に一人の学年職員が抱いた課題意識「生徒たちがひとつひとつ指示しないと何もやらないのです。自主性を育てたいのですが、どうしたら良いのでしょうか。」からスタートした「心磨き清掃(自問清掃)」に取り組んで2年が経った。

現在の様子を見てみると、心磨き清掃の導入によって校内の美化や生徒の清掃態度は表面的には変わりつつあり、無言で意欲的に取り組む姿が多数見られるようになった。しかし、心磨きノート感想をみると「今日はちょっとしゃべってしまったけどよくできた。」「今日はみんなよくやっていた。」などの表面的な感想に留まり、自分の行為や思いにはどんな意味があったのかを問いながら、自分の道徳性や行為の高まりを自覚するに至っていない生徒も多い。自己の行為や思いの振り返り方が分かっていなかったり、自己に問いながら自らを高めていく良さを味わえていなかったりするのが原因ではないだろうか。

そこで、他の生徒の心磨きノートに表れてくる振り返りや感じ方に共感する場面を設けたり、友の振り返りを参考にしながら自己の行為や思いを振り返ってみたりすることができれば、自己の道徳的心情や行為の道徳的価値について問う姿勢が身につく、自らの行為や思いの高まりを実感しながら自立しようとする生徒の育成ができるのではないかと考え、本テーマを設定した。

Ⅱ 研究内容

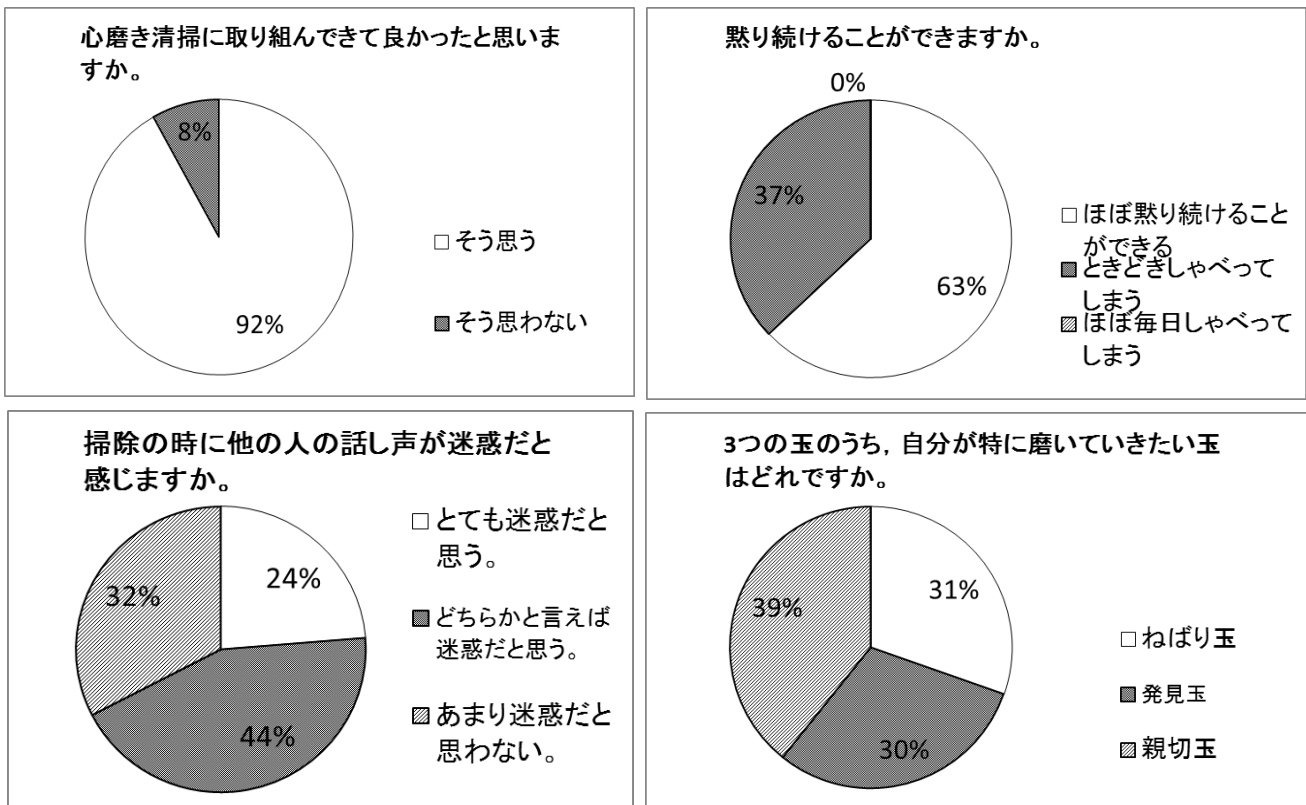
1 本校の生徒の実態

本校の生徒は、純朴で明るい生徒が多い。校内外で地域の方と挨拶を交わしたり友達や教職員と日々屈託なく挨拶を交わしたりすることができる生徒が多く、全体に相手を受け入れようとする寛容な雰囲気を持っている。

心磨き清掃に取り組んできた3学年の生徒の中には「無言でないほうがもっとはかどった」「清掃そのものは小学校からやってきている清掃とかわらない」「自分の意志で取り組んでいないから意味のない時間」「私生活に何の影響もなかった」と、清掃への取り組みにより自分自身の成長や心の変化を実感できていない生徒が若干名いる。また、「集中できない人は座っているという点で、座っているのが嫌で自分に嘘をついて、逆に心が汚れていく気がする」と心の在り方について否定的な考えを持つ生徒がいる。

しかし、多くの生徒は「ただ清掃をするより、意識が高くなってきれいになる」「小さな汚れやゴミは気にしていなかったが、汚れをきれいにしたいと思えるようになった」「無言で清掃をすることや気づいて清掃をすることから始めて、今ではもっと清掃がしたい、気持ちいい」というように、取り組んできたことに成果を感じており、心磨き清掃の有効性を実感している。さらに「無言で行い周囲に迷惑をかけないことを意識することで、空気が読めるようになった」「自分で考えて行動することが清掃中だけでなく日常生活でも多くなった」「心磨き清掃をすることでいろいろな視点から物事を考えられるようになった」と、自分自身の成長や日常生活への影響について言及している生徒も多い。真剣に清掃に向き合う中で、「社会へ出るための準備運動」として取り組もうとしている生徒もおり、「他の人のいいところを見つけ自分に生かし」たり「考えを推し量る力」を素直に身につけようとしたりしながら、自分自身を高めていこうとしている。

アンケート結果は以下の通りである。



2 精神性を高めていく取り組み・・・「心磨き清掃（自問活動）」について

(1) 段階的学習として設えられた条件設定学習・・・自問清掃

子どもたちに掃除をやらせていけば、子どもたちは「掃除の時間が待ち遠しい」「掃除が楽しい」などと考えるようになるのだろうか。一つひとつ丁寧に指示したり子どもたちが惑わないように準備したりすれば、自主性が育ち自主的に行動するようになるのだろうか。この問いに対する答えは、悩むまでもないであろう。

「自問清掃」は、長野県の竹内隆夫(元高社中学校長)によって創案された掃除教育プランで、五つのステップとして構想されている。掃除から一切の管理・強制を排除して自発性を引き出し、自主性、自律性、思いやりの心を育てるための道筋が構造化されている。したがってこのプランでは、単に掃除ができるようになるだけではなく、「自問」とわざわざ冠されているように、掃除をとおして自らの生き方を問う姿勢が醸成されることを目指す道徳教育方法論の一つである。発想原理には、時実利彦博士の脳生理学、井島勉博士の美学、禅の思想があるとされている。

第一段階は『がまん清掃』と呼ばれ、がまんとやる気という意志力を目標にする段階である。友だちに話しかけないで黙って掃除することに挑戦する。がまん強い意志力を鍛えると同時に、人との関係におけるがまん強さも学ぶ。このため、しゃべりたくなったり遊びたくなったりした時は、掃除の邪魔にならない場所で休み、掃除ができるようになったら戻ることにする。働くか休むかを子ども自身に決めるよう促し、徹底して「信じて待つ」。このため、指示・命令・注意を一切しない。掃除における無言を、我慢強さを育てるための一種の条件設定というイメージで子どもに説明して内発的に動機づけることによって、結果として無言で掃除ができるように仕向ける。無言そのものを強要しないという点が、所謂「無言清掃」と大きく異なっている。

第二段階は『しんせつ清掃』と呼ばれ、黙っていてもどれほど人の心を汲む気働きができるかを目標にする段階である。ここでは「言葉でなく行為で協力する」ことを目指す。そのために、言葉で連絡をとることをやめてみる。そういう条件設定で掃除をする。一見不自然ではあるが、そんな条件でやってみる。目配せや手招きなどによる連絡も止める。わざと不便な状況に身を置いてみるようにする。

第三段階は『みつけ清掃』と呼ばれ、最後の一分一秒まで仕事を見つけとおすことに挑戦する段階である。一応掃除が終わり一見きれいになったと思われるような状態から、さらに「見つけよう見つけよう」と努力するため、前頭葉が刺激され創造力が豊かになることを期待する。汚いところをきれいにする掃除という考え方から、花をとってきて花瓶に飾ったりポスターを描いたりするような行為も奨励する。

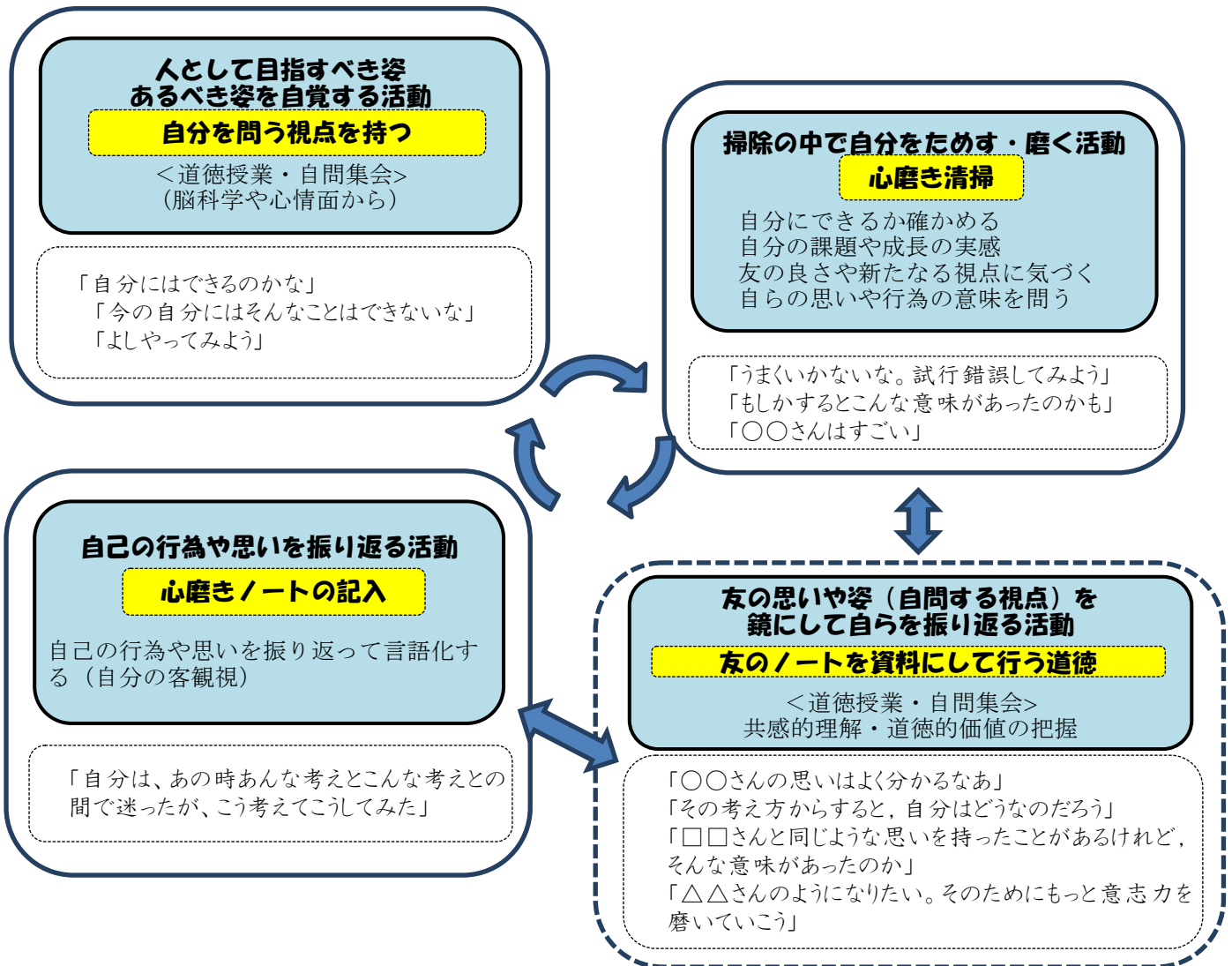
第四段階は『感謝清掃』と呼ばれ、感謝の気持ちで働けるかどうかを自問する段階である「感謝」をキーワードに、自分が取り組んでいる清掃の意味や価値について自問する。掃除にとりかかる前に、人や物に対する感謝の気持ちがあるか否か、自分に問いかけ確かめておいてから掃除にかかる。感謝の気持ちが不確かなときは、働かずに休む。

第五段階は『正直清掃』と呼ばれ、掃除時間の一切の行動を、自分自身の心の尺度で判断し、正直な気持ちで過ごす時間とする段階である。ほめられるために、叱られないために、人と比べて優越感を持ちたいために働くのではない。そういう自分かどうかを自問してから、掃除にとりかかる。判断力を問うと同時に、福祉や奉仕の精神を身につける段階でもある。

注意すべきは、道徳性の深化には個人差があり、いつから次の段階に進むのか、あるいは前の段階に戻るのかも生徒個々によるものとの理解が必要である。

(2) 自問活動における生徒の意識の流れ

自問活動を通じた道徳性の育成では、下記の意識の流れを繰り返し、らせん的に自己の高まりを自覚しながら高まっていけるように教師の関わりをしていく。



(3) 生徒作文（心磨きノート）を道徳資料として授業を行うねらい

まず、誰もが共通して毎日掃除を体験していることが重要である。共感したり道徳的価値を把握したりしていく前提としての共通基盤が清掃であり、清掃の振り返りとして綴られているのが心磨きノートである。共感的理解を促しやすく、価値の把握や実践への動機付けを促しやすい。

- ① 他の生徒の心磨きノートに表れている振り返りや感じ方に共感する場面を設ける
「自分も同じように感じたことがある」などと共感し合うことができれば、友の行為や思いの道徳的価値を追求することを通して、共感的に自己の行為や思いを問うことができる。

② 友の振り返りを参考にしながら自己の行為や思いを振り返る（問い直す）

心磨きノートの中には、

今日は黙ってよくできた。明日も頑張りたい。

今日は喋ってしまってダメだった。次は頑張りたい。

などの表面的な振り返りも見受けられる。

一方で、同じ書き出しでも次のように書く生徒もいる。

今日は黙ってよくできた。それは、〇〇くんがいつも以上にすごいスピードで雑巾がけをしていて、何が何でも時間内に全部終わらせるんだ！みたいな気迫を感じたからだ。僕も負けてはいられないと思ったからよくできた。でも、今よく考えると、これって、自分でやる気を出したことになっていないからダメじゃん！って思った。

自分の行為にどのような思いが含まれているのかを振り返ったり、自分の行為や思いがどのような道徳的価値を持つのかを問うたりしている生徒の心磨きノートを紹介する。この紹介により、前者のような表面的な振り返りにとどまっている生徒たちは、後者の生徒の振り返りを参考にしながら、自分の振り返りが表面的であることに気付き、自分の行為や思いを振り返ることができる。

Ⅲ 本時の学習指導案

1 主題名『楽しいってどんなこと？』

2-(2) 「温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。」

2 資料 「Kさんの心磨きノート」

今日は、「掃除が少し楽しいのは何でかな」って考えました。最近、私は前よりも掃除に積極的になつたと思います。思った行動を実行できるようになってきたのです。

今日は、Rさんが掃除用具がどこにあるかわかっていなくて困ってるかな？と思ったので、さっと動いてちりとりを持ってきました。

それでゴミを全部回収して捨てに行くと、風で集めたゴミが散ってしまいました。そしたら、Rさんは手で拾ってくれました。無言で。とても嬉しいです。

3 主題設定の理由

学級の生徒は、仲が良く明るい雰囲気があり、授業を集中して受けることができる生徒が多い。これまでの心磨き清掃では、多くの生徒がどんなことが迷惑になるのか考えを広めたり、迷惑をかけないで過ごすことの難しさに共感し合ったりして、迷惑に対する感覚を磨いてきた。しかし、自分のできる仕事を探し求め続ける「みつけ清掃」や、感謝の気持ちをもって清掃に取り組む「感謝清掃」の段階にまで進むことができない生徒も多く、「心磨きノート」に記述する内容も、自らの内面の変化より、表面的な現象への着目にとどまっていることが多い。これは、掃除の中でどんなことが自分の成長につながっていくのか考えが深まっておらず、また、気働きをする良さを感じる経験が不十分であると考えられる。

本資料はクラスメイトであるKさんの心磨きノートである。掃除で「楽しい」「嬉しい」思いを味わった経験を素直に記述しており、どんな思いや経験をしていくことが、人として生きていく喜びを味わうことにつながっていくか考えるきっかけをくれる。この資料を扱うことによって、親切な行為がどんな意味を持っているのか、また、親切な行為をする人の思いの素晴らしさに気づき、より充実した心磨き清掃への意欲を高めることができると考え、本主題を設定した。

4 本時案

(1) 主眼

どうしてKさんは掃除を楽しいと思ったか考える場面で、Kさんがこれまでにどんな力をつけてきたのかを考えたり、Kさんはなぜ「とても」がつくほどの嬉しさを感じたのか考えたりすることを通して、自分自身の成長を感じながら掃除をしたり、行為を通して仲間と通じ合ったりすることが楽しさにつながっていくことに気づき、今後の心磨き清掃の意欲を高めることができる。

(2) 指導上の留意点

一人ひとりの生徒の考えや発言を共感的に受け止め、様々なものの見方や考え方があり、そこから自己の考えを深めていく姿勢を大切にしていく。

(3) 指導案

段階	学習活動	予想される子どもの反応	教師の指導 評価	時間
導入	1、掃除を楽しんでいると感じたことがあるか考える。 2、資料を読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れがたくさん落ちたときは楽しかったな。 ・今まで気づけなかった汚れに気づけるようになってきたのが楽しいな。 ・僕は掃除が楽しいなんて、あまり感じたことがないぞ。掃除を楽しんでいる人なんているのかな。 ・Kさんはどうして掃除を楽しんでいるのだろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Kさんはどうして掃除を楽しんでいるのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今までの経験を想起するように促すことで、楽しいと感じた具体的な場面を考えることができるようにする。 ● Kさんはどうして掃除を楽しんでいるか問うことで、掃除の楽しさの理由を考えながら作文を読むことができるようにする。 	5
展開	3、資料を読んだ感想を書く。 4、Kさんはこれまでにどんな力をつけてきたか考える 5、Kさんはなぜ「とても」がつくほどの嬉しさを感じたのか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除の時間で思った行動を実行できるようになったなんてすごい。 ・とても嬉しいことを掃除で経験するなんてすごい。 ・Kさんだけでなく、手でゴミを拾ったRさんも親切の気持ちをもっているんだな。 ・「なってきた」と書いているから、Kさんも以前から今回の作文のような気働きができたわけではないんだな。 ・Kさんはやる気を出す力をつけたんじゃないかな。 ・Kさんは色んなことに気づく力や、しようと思ったことを行動にうつす力をつけてきたのかな。 ・気働きは、余計なお世話になってしまう可能性もあって難しいけど、やろうとしたことを実行できるようになってきているんだな。 ・Kさんは今まで、色んな力をつけてきたんだな。 ・Rさんは親切をされたお返しをしたかったんじゃないかな。 ・Rさんが無言で親切をしてくれたからこそ、「とても」がつくほどの嬉しさを感じたんじゃないかな。 ・黙ってやったことで、KさんにRさんの思いが伝わって、「とても」がつくほどの嬉しさを感じたんじゃないかな。 ・Kさんは、黙っていたのに心が通じ合えたことを実感して、嬉しさを感じたんじゃないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「実行できるようになった」という記述の意味を問うことで、Kさんは前から今回の作文にあるような気働きができていたわけではないことに気づくことができるようにする。 ● 気働きをするためにはどんなことが必要なか問うことで、気づく力や、しようと思ったことを実行にうつす力などをKさんがつけてきたことを予想できるようにする。 ● Rさんはどんな思いで、ゴミを拾ったのか問うことで、RさんがKさんに対して親切の心を持ち、それを実行にうつしたことを予想できるようにする。 ● 生徒の発言に対し、なぜそう考えたか、具体的にどういうことなのか、問い返すことで、より生徒の考えをより深く共有することができるようにする。 	30
まとめ	6、本時の感想を書き、発表しあう。	<ul style="list-style-type: none"> ・Kさんのように色んな力をつけて、できることを増やしていくと、掃除が楽しくなっていくのかな。 ・自分は掃除の中で色んなことに気づけるようにはなってきたけど、それを実行する力が足りないので磨いていきたい。 ・最初に考えた自分の楽しさと、Kさんの楽しさは全然違う。Kさんのような楽しさを感じることができるようになりたい。 ・掃除の中で、周りの友達たちはたくさんの親切をしている。Rさんのように、自分もお返しの気持ちをもって親切に取り組みたい。 ・黙って取り組むことが、楽しさにもつながるんだ。これからも無言で続けていきたい。 ・掃除でも、楽しさを感じることもってできるんだな。自分も楽しさを味わってみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再び、Kさんはどうして楽しさを感じたのか問うことで、Kさんの楽しさの原因を考えながら、本時の振り返りを書くことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価 Kさんの楽しさに寄り添って、心磨き清掃への意欲を高めているか。</p> </div>	15

心磨き学習カード

3年4組 ____番 _____

Kさんはどうして掃除を楽しんでいるのだろう？

・ Kさんの作文を読んだ感想

.....
.....
.....

1

.....
.....
.....

2

.....
.....
.....

・ 今日の授業の振り返り

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....